



「多久から発信!SDGs⑤」

「地域で創るスポーツ環境」

季節は春ですね。4月から新しい環境で過ごす人も多いのではないのでしょうか。保育園やこども園、学校あるいは職場で、新しいメンバーを迎えるのスタートは、高揚感と緊張感が入り混じり、体調を崩しがちです。体調管理に気を付けてお過ごしください。

健康・体力を保持・増進するためには運動ができる「環境」「時間」そして「仲間」が必要だといわれます。市は、総合型地域スポーツクラブ「多久スポーツピア」を設置し、幅広い年代の人が運動できる環境を整備しています。

市内義務教育学校の運動部活動では、地域と連携して行う「地域運動部活動推進事業」が今年度から本格的にスタートします。部活動に参加している生徒は、スポーツピアの会員となり、平日はそれぞれの学校で、平日以外は多久スポーツピアで活動します。取り組みたいスポーツの選択肢が広がり、子どもたちが、地域のみなさんと一緒に活動する機会が増えるかもしれません。現在、事業を行うにあたり、子どもたちに指導いただける人を募集中です。

市民のみなさんと一緒に創り上げていくスポーツ環境は、多久市が目指す「人が輝く文化・スポーツ交流のまちづくり」につながります。



連載

野の仏ギャラリー ⑳

子安観音坐像

北多久町中尾神社

屋根に宝珠を載せる石祠の中に安置されています。丸彫りの坐像で蓮華台はありません。観音は頭髪を包む角頭巾をかぶり、正面で両手に赤子を抱いています。赤子は体を衣で包まれ、顔を拝観者向きにのぞかせています。子安観音は仏教の経典に説かれたものではなく、安産や育児の民間信仰から造像されたものです。銘文の「女中」は女人講中を省略したもので、女性が集まって講をつくり、子安観音が奉納されました。

銘「弘化三丙午□弥生吉日」施主當宿女中一



- 石祠は石で造った「ほこら」です。
- 丸彫りは、一石から像を彫り出すことです。
- 銘の「弘化三丙午」は西暦1846年です。
- 銘の「當宿」は江戸時代の多久原宿のことです。
- 銘の□は解読できない文字です。

多久市郷土資料館長 藤井伸幸

市民文芸

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

- ◆ 三十数年 三十回に及びたる  
草の根友好の旅に老いたり  
尾形 節子
- ◆ 知恵という革命によるも節という  
現実に身を置いて来た  
野崎 隆幸
- ◆ 剪定を終えし息の家の庭清し  
枝垂れ梅のふくらみ増えて  
浦野 嘉恵
- ◆ なにゆえに 国を追われて逃げ惑う  
ウクライナ民の悔しさ思う  
梶原恵美子
- ◆ 冷凍せし蓬緑に搗きし餅  
ほのかに春の香りひろがる  
川浪 信子

俳句 《大石ひろ女選》

- ◆ 春立つや旅の予定の時刻表  
本村 則子
- ◆ 山笑ふ 秘窯の里の にぎはひに  
おおやはな
- ◆ 喪の家を静かに照らす春の月  
武富 律子
- ◆ 道草の下校の五人雪遊び  
中嶋 清子
- ◆ 酒蔵の諸味を覚ます木の芽風  
富樫 明美

川柳 《多久川柳会 互選》

- ◆ 小さな手あげて大型ダンブ止め  
高塚チカ子
- ◆ 西から吹く風も黄砂も焦げ臭い  
井上 東子
- ◆ 昔話老いが輝く活き活きと  
田中 正春
- ◆ 細菌が人の弱さを突いてくる  
西山 残月
- ◆ ヨーイドン ママの声して立ち止まる  
松下 修